

市の歴史や文化の振興においては、市史の第12巻目となる「通史編1・館林の原始・古代・中世」の刊行に取り組みほか、茂林寺沼低地湿原の水環境の保全や整備に取り組みなど、本市の貴重な文化財の保護管理に努めるとともに、芸術文化活動の推進を図るほか、文化会館のバリアフリー化に引き続き取り組みます。

また、向井千秋記念子ども科学館のプラネタリウムをリニューアル整備するとともに、リニューアルオープン特別番組を制作するなど、子どもたちの宇宙や科学に対する関心を深めます。さらに、城沼総合運動場内に弓道場を整備するなど、公園競技施設の充実に努めます。

**便利で快適な
住みやすいまち**

道路における移動手段の利便性や安全性の向上を図るため、市道整備や道のでこぼこ解消事業を引き続き実施するほか、東部環状線などの都市計画道路事業を着実に進めるとともに、西部第一南・中地区、西部第二地区の区画整理事業などにより、都市基盤整備を推進します。

また、良好な景観の形成とともに、暑さ対策の一環として、まちなかの空地・屋上等に対する緑化への補助やオープンガーデン事業を引き続き実施するほか、涼み処の設置や緑地の植栽に取り組みます。

**出会いと交流のある
元気で活力のあるまち**

障がい者・高齢者雇用奨励金を創設して、障がい者や高齢者の雇用の機会創出に取り組みるとともに、トライアル雇用奨励金、雇用奨励金の継続により、雇用の機会創出から継続雇用までを一貫して支援します。

農業振興では、園芸産地育成事業費補助金などにより担い手を育成するほか、青年就農給付金制度などにより、将来の地域農業の担い手となる新規就農者を育成するとともに、酪農業の経営安定化のために、優良雌牛の導入費を補助します。さらに、苗木地区、上三林町大曾根地区の農道整備のほか、大島地区のほ場整備調査を引き続き実施するなど農業基盤整備を進めます。商工業振興では、市内中小企業者の受注量を増やし、地域経済の活性化を図るため、住宅リ

フォーム資金を継続して助成するとともに、金券発行事業として、これまで現金で交付していた各種補助金等を、市内の店舗などで使用できる金券で交付することにより、市内での確実な消費に結び付け、商業の活性化を図ります。

また、中心市街地の空き店舗を利用する新規創業者に対して、経営計画の作成、家賃・改装費等の補助、店舗診断など、一連の支援を積極的に行うことにより、

新たな起業機会の創出と商業の活性化を図ります。さらに、中小企業者の資金需要に対応するため、経営安定資金や経営振興資金などの制度融資を引き続き行

平成26年度 一般会計予算

歳 入			歳 出		
項 目	予算額 (千円)	構成比 (%)	項 目	予算額 (千円)	構成比 (%)
市 税	11,347,633	42.3	総 務 費	2,425,887	9.0
地方交付税	2,300,000	8.6	民 生 費	8,714,193	32.5
国庫支出金	3,147,936	11.7	衛 生 費	3,548,695	13.2
県支出金	1,599,755	6.0	商 工 費	1,698,843	6.3
繰 入 金	1,828,510	6.8	土 木 費	3,400,480	12.7
諸 収 入	2,188,046	8.1	教 育 費	3,145,217	11.7
市 債	2,058,800	7.7	公 債 費	2,120,303	7.9
そ の 他	2,369,320	8.8	そ の 他	1,786,382	6.7
計	26,840,000	100.0	計	26,840,000	100.0

うとともに、新たな設備投資を支援するための、ものづくり設備促進補助金を創設して、中小企業の振興と経営の安定化を図ります。

観光振興では、本市の宝であるつつじ古木群の保護や、つつじの育成に引き続き力を注ぐとともに、つつじが岡公園の四季型化に向けたリニューアル整備に取り組みます。

平成26年度 特別会計予算

会 計 別		予算額(千円)
国民健康保険特別会計		8,954,256
下水道事業特別会計		1,902,904
農業集落排水事業特別会計		46,474
介護保険特別会計		5,657,278
後期高齢者医療特別会計		823,345
水道事業会計	収益的支出 (経常的経営)	1,812,030
	資本的支出 (建設改良事業)	901,107

**まちづくりのしくみが整い
発展できるまち**

市制施行60周年を記念して、記念式典をはじめ、向井千秋記念子ども科学館特別企画事業などの記念事業を実施します。

また、地域課題の解決に向けて自主的に活動している市民活動団体を支援し、その公益的な活動の発展・充実を図り、共創のまちづくりを推進するとともに、姉妹都市や国内友好都市との友好促進を図り、人づくりやまちづくりにおける相互発展につながるよう、国際・都市間交流を推進します。